

建物総合管理システム

Patina (パティナー)

エネルギーデータを活用して建物設備の維持運営管理を支援するツールです。

建物維持運営の業務に携わる方へ

建物や備え付けの設備は年月の経過によって性能低下や故障の増加などが生じ、安全面や快適性を損なうことになります。

それを防ぐためには、建物や設備の現状を把握し、日々のメンテナンス計画や記録の蓄積、それらの情報を担当者だけでなく管理者やオーナーなどに展開する必要があります。

Patinaでは、建物運営に関するデータを保全業務だけでなく、経営資源としても活用できるよう建物維持保全管理業務を統合的にサポートします。



導入によるメリット

- **トラブル発生時の迅速対応**
 - ・建物や設備、メンテナンスの情報を活用することで、不具合の早期発見・迅速対応ができます。
- **保安全管理業務の効率化**
 - ・点検や巡視など保全業務にタブレットを活用することで、現場で情報閲覧・登録ができます。
- **ノウハウの早期継承**
 - ・建物維持に関する情報を蓄積することでノウハウの属人化から脱却できます。

Patinaの主な機能

■ 建物設備管理機能
建屋付帯設備の詳細やドキュメントなどの情報管理

■ 保全管理機能
タブレットを活用した現場でのメンテナンス情報管理

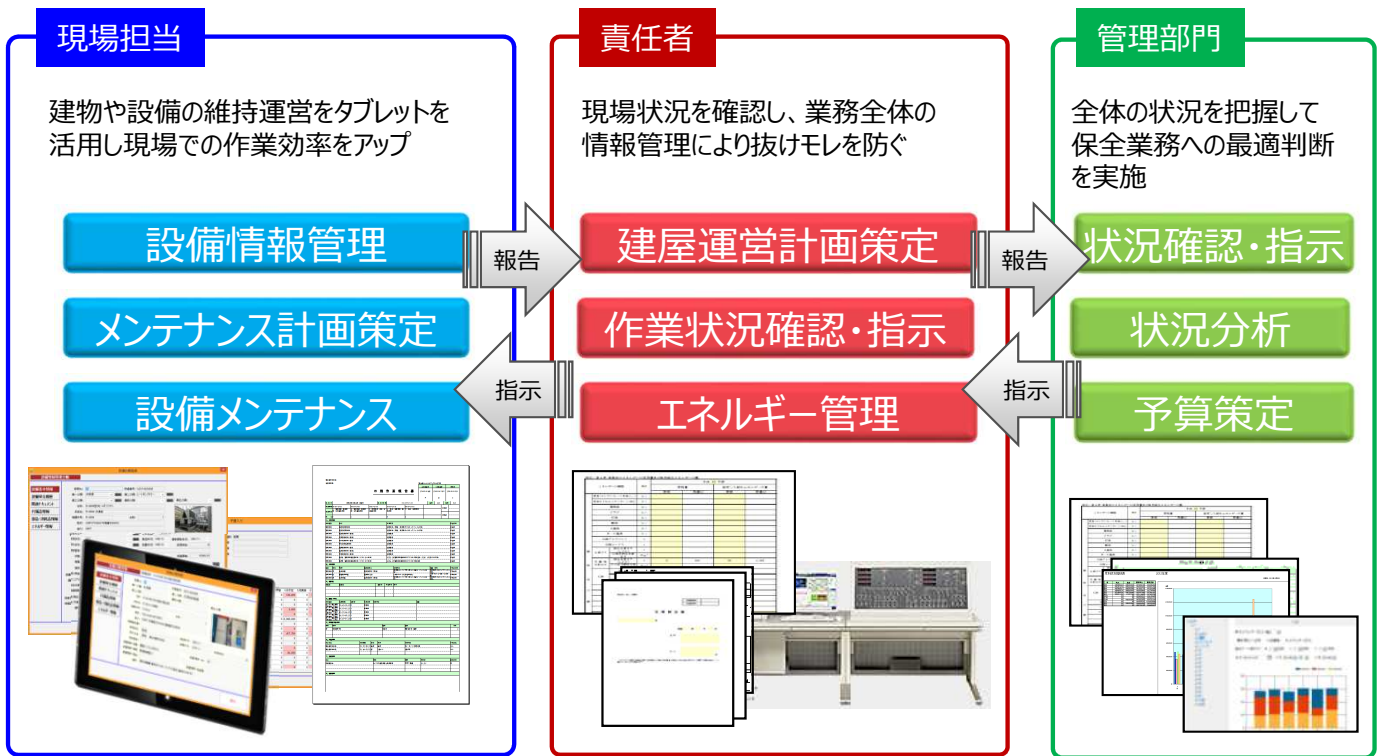
■ 保全計画・予算管理機能
建物や設備の修繕計画、予算の実績などの情報管理

■ エネルギー管理機能
Futuricのデータを活用し、設備の警報管理や詳細なエネルギー情報を管理

システム導入後の業務イメージ

■ 設備管理現場から管理部門での情報共有

設備情報やメンテンスの記録など日々の業務情報を現場担当者で管理し、責任者に共有します。責任者は業務内容の確認や次期メンテナンス計画の立案などの業務を実施します。さらに、管理部門では全体の状況を把握して、健全な建物維持管理運営をおこないます。



クラウドで実現する新たなエネルギーマネジメント

施設管理×IoT×AI×クラウドを融合した新たな価値提供

参考出展

複数の既存中央監視システムとの相互接続を可能とする
新たな基盤で遠隔監視の他、新たな付加価値サービスを提供。

主な特徴

■ 複数建屋の一元管理

- ・ 最大100建屋（システム）とプロトコルゲートウェイ（PGW）経由で接続可能。
- ・ 管理点数は最大20万点まで一つの施設アプリ基盤で管理。

■ 多様なインターフェースに対応したプロトコルゲートウェイ

- ・ IEIEJ-P-0003:2000、IEIEJ-P-0003:2000アデンダムa、BACnet2004/2012に対応。2000年以降のオープン化システムと接続可能。
- ・ ローカルの中央監視システムと直接通信する為、リアルタイムな監視・制御が可能。

■ オープンな設計

- ・ 施設アプリ基盤とはWeb APIで連携でき、他ベンダーでもWebアプリ製作が可能。
- ・ データをJSON形式にすることで、多様なアプリケーションで容易に利用可能。

